

円小学校学校だより

個性の花咲く円の郷

令和5年1月号

口ひとつ，耳ふたつ



新年あけましておめでとうございます。保護者や地域の皆さまには、令和5年（2023年）の新春をご家族そろって健やかに迎えられたことと思います。

ところで、人間にはどうして口がひとつ、耳がふたつしているのでしょうか。じっくり考えたことがあるでしょうか。「そんなことは当たり前だよ」と、少しも疑問を持たないのではないかと思います。じつは、私もそうでした。耳は「人の話や物音を聞くところ」、口は「食べ物を入れるところ、人と話す言葉を出すところ」、そのくらいの程度しか考えていませんでした。ふたつある理由なんて…。ところが、ある雑誌で、なるほどなああと心打たれる言葉に出会いました。

**口はひとつ，耳はふたつ
されば言うことを少なくして
多く聞くことよかりけり**



そう！まずは聞くことなんだということ。私はこの言葉を何度も読みながら、改めて自分の顔を思い浮かべました。耳は外に開かれています。言葉は出ませんが、何か「聞き取ろう、聞き取ろう」としています。そのうえ片方だけではなく、きちんと左右に1こずつついています。公平に周囲の声や音を聞き取ろうとしています。しかし、口はひとつ。それだけになお大切です。言葉は手に似ています。握りしめて相

手を殴ることもできるし、広げて相手を抱きしめることもできます。耳は謙虚に、そして公平に周囲の声を聞くために、口は人を思いやる言葉にこそ生かしたいものです。「相手の思いを十分に聞き取り、自分の主張はほどほどにする」そこに人間関係が丸く収まるコツがあるのでは…。神様から授かった「口ひとつ，耳ふたつ」をよく考えて、日ごろの自分を思案したいものですね。

さて、今年は卯（うさぎ）年。3学期始業式では、ウサギの身体の特徴を示しながら、「聞くことの大切さ」の話をしました。ウサギは草食動物です。食事をしながらでも常に大きな耳を動かし、聞き耳を立てています。それは、周囲に敵（肉食動物）がいないか敏感に察知するためです。まさに、物音を聞き逃すことは「命取り」になるのです。本校の子どもたち、日ごろの生活や学習で、大切なことを聞き逃す場面をよく見かけます。3学期の目標のひとつとして、「先生や友だちの話をしっかり聞くこと」を提案しました。

コロナ禍ではありますが、町行事や集落行事など少しずつ再開され、平常の生活に戻りつつあります。1日も早く終息し、子どもたちが伸び伸びと学校生活を送れるようになることを切に願っています。本年も本校の教育活動へのご支援とご協力をよろしくお願いします。

学習発表会



2年ぶりに入場制限なしで実施します。子どもたちの学習の成果をぜひ間近でご覧ください。

- 1 日時 令和5年2月5日（日）9:30～12:00
- 2 場所 円小学校体育館
- 3 その他 ・飲み物等は各自で持参してください。
・詳細はプログラムで確認してください。

遠路はるばる…



以前リモート交流をした上興部小学校の落合校長先生が来校されました。3学期始業式の中で、サプライズゲストとして紹介しました。先生からは北海道の小

中学校は冬休みが1週間長いこと、雪かきの道具は用途に合わせてさまざまな種類があること、除雪のため道路の幅は通常より広いこと、暖房機器は体育館にも設置してあり豪雪に備えて大量の灯油を備蓄していることなどなど、雪国ならではの話をさせていただきました。雪や氷を見たことがない子どもたちは興味津々、先生のお話や雪深い写真に驚きの声を何度も上げていました。



ニュースポーツ体験

1月の土曜授業日には、奄美自然の家の研修主事を招いて、東京パラリンピックで話題になった「ボッチャ」をしました。性別や年齢に関係なく参加できる楽しいスポーツです。

2月の行事予定

日	曜	行事名等
4	土	第6回子ども博物学士講座
5	日	学習発表会
6	月	振替休日
15	水	町学校保健会理事会
16	木	新1年生体験入学・入学説明会